

滋賀大学環境総合研究センター

研究年報

第5巻第1号（通巻第5号）2008年7月

Science for Environment & Sustainable Society

特集論文Ⅰ：水辺エコトーンにおける生物多様性と生業活動・コモنزの変容に関する研究

ヨシ帯保全における自然と人間との適度な関係	牧野 厚史 1
内湖の生物多様性保全・修復に向けて	西野麻知子 13
「里湖」研究の意義 —水辺の「二次的自然」をめぐって—	佐野 静代 31

特集論文Ⅱ：「豊かな」社会の到来と生活空間の変容 —日韓比較—

開発主導の住環境形成が生活空間の近代化に及ぼした影響 —生活空間の近代化に関する日韓比較プロジェクト研究—	山崎古都子・梅澤直樹・李容圭・秋山元秀・上村要司・金貞仁・伊藤未樹子 39
国策事業（国家的プロジェクト）をめぐる葛藤から社会的合意の形成へ ¹⁾ —韓国の「シファ地域持続可能発展協議会」の事例を中心として—	金 善泰 61
環境問題への地域からの取り組みの促進に向けて—日韓両国を比較しながら—	梅澤 直樹 71

論文

環境財務会計—制度会計領域における環境関連事象の取扱い—	赤塚 尚之 91
------------------------------	----------

報告・資料

プロジェクト研究活動

- ①「豊かな」社会の到来と地域・生活空間の変容 —日韓比較—
 - ②水辺エコトーンにおける生物多様性と生業活動・コモنزの変容に関する研究
 - ③減災ネットワークの育成に関する研究と活動
 - ④キャンパスを活用した自然体験型環境教育プログラムの開発
 - ⑤安全・安心の米作り営農技術に関する産官学連携研究
 - ⑥琵琶湖・淀川流域と韓国・洛東江流域を素材にした流域管理政策の日韓比較研究
 - ⑦びわ湖に流入する河川水の分散機構
 - ⑧農業環境政策の制度設計
-